

昨年はじめから続く新型コロナウイルス感染症の蔓延だが、いまだ沈静化とはいえない。2020年4月に最初の緊急事態宣言が発令され、そして本年の1月から2度目、4月から3度目、7月から4度目の緊急事態宣言が発令されている。この編集後記を執筆している今は、4度目の緊急事態宣言のただ中である。

小職は昨年8月発刊の本誌でも編集後記を担当したが、そのときは1度目の緊急事態宣言が終わっていたものの、街中には緊張感が漂っていた。書店にはカミュ著の『ペスト』が積まれており、「不条理」という言葉が、その時期の雰囲気を表しているように思う。今は4度目の緊急事態宣言の際中ではあるが、書店にはコロナ前とさして変わらない書籍が並べられており、街中にもさほどの緊張感は感じられない。しかしコロナ以前とは同じでない。これまでに味わったことのない、なんとも言えない不自然さを感じる。「憂鬱」という言葉が思いつくが、そのような気分であろうか。

このような憂鬱なわが国で、TOKYO 2020 オリンピック（2021年7月21日～8月8日）およびパラリンピック（8月24日～9月5日）が開催された。TOKYO 2020 に対する想いは、国民一人一人、さまざまなものがあろう。小職には57年前の1964年東京オリンピックのことがとても気になる。われわれの日々の暮らしの中では、日本の国が、そして人々がどのように変化しているかを感じることはほとんどない。しかし、オリンピックという世紀の祭典を通してみると、57年間という時の流れの中で、わが国のかたちが大きく変わったということを実感する。「時間の尺度」のなせる業であろうか。

さて、本号の特集は「脊髄病変と排泄・性機能障害」である。重要なテーマではあるが、本誌で特集として取り上げられることは少なかった。2011年2月発刊の特集「神経因性膀胱」以来の10年ぶりの泌尿器科関連の特集ということになる。日々の脊椎脊髄疾患の診療の中では、この領域に大きな変化が生じているとは感じにくい。しかし、10年間という「時間の尺度」を通してみると、わが国の脊椎脊髄疾患の診断・治療における排泄障害・性機能障害関連の研究が大きく進歩したことを実感する。

（山崎正志）

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 高橋 昭 金田清志
小山素麿 小柳知彦 田代邦雄
国分正一 服部孝道

編集委員

山崎正志（編集委員長）
金 彪（副編集委員長）
亀山 隆 園生雅弘 高橋敏行
谷 論 筑田博隆 永島英樹
中村雅也 根尾昌志 原 政人
飛驒一利 堀 正明 松山幸弘

Vol. 34 No. 4
(2021年10月5日発行)

毎月1回25日発行

1部定価（本体2,500円＋税）

（配送料別）

年ぎめ予約購読料 33,300円＋税

送料弊社負担

発行／株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

（担当：山岸）

印刷所／三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所／

（株）文栄社

TEL 03-3814-8541

（株）ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2021.

Printed in Japan

【COPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。